

雲南の山と自然

山の日制定を記念して

Mountains and Wildlife in Yunnan China

Photo exhibition of the snowy mountains and the snub-nosed monkeys



「山の日」制定を記念し、中国・雲南省の自然と文化の多様性をテーマに、全国「山の日」協議会副会長で、京都大学霊長類研究所教授の松沢哲郎氏が監修を務める写真展を開催します。一部の写真は未公開作品です。



会期 平成26年11月26日(水)～30日(日)
時間 午前9時～午後5時 (初日は午後3時から／最終日は午後4時まで)
会場 松本市美術館 2F多目的ホール
観覧 無料
主催 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院
共催 全国「山の日」協議会 京都大学学士山岳会
主な展示作品

- 梅里雪山(雲南省に位置する、6,000m級の人類未踏峰の連山)の空撮写真
- 雲南に住むキンシコウ(孫悟空のモデルとなったサル)の生態
- 雲南に住む人々 他

特別講演会

会場 松本市美術館 2F多目的ホール(写真展会場内)

写真展にあわせ関係者による特別講演を行います。

※申し込み不要／直接会場にお越しください。



11月26日(水) 17:00～18:00

講師 松沢 哲郎氏 京都大学霊長類研究所教授

演題:「キンシコウ:孫悟空のモデルになったサル」

概要:雲南省でキンシコウの調査を始めています。キンシコウというのは孫悟空のモデルになったサルです。霊長類(サルのなかま)で最も高いところにすむものが、雲南キンシコウです。そのさらに西の梅里雪山の山稜のどこかには、未知の梅里キンシコウがいるかもしれません。雲南の山とサルについて最新の成果をお話します。

11月27日(木) 17:00～18:00

講師 山越 言氏 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科准教授(松本深志高校卒)

演題:「アジア・アフリカの里山と人びとの暮らし」

概要:人類が山岳に挑むようになったのは近代以降のことですが、それ以前から、また現代でも、自然に依存して暮らす人びとは山を畏れ敬い、護り、また生活の場として利用しながら生きてきました。近代と地域の人びとの自然観の違いに注目して、信州の自然、「アルプス」や「安曇野」という言葉の歴史に触れ、そこから世界各地の環境保全活動の将来について考えてみます。



11月29日(土) 11:00～12:00

講師 小林 尚礼氏 写真家/カワカブ会代表

演題:「雲南の最高峰・梅里雪山 その自然と聖地の魅力」

概要:雲南省の最高峰梅里雪山で、17人の登山隊員が遭難したのは1991年のことです。それ以来、友人でもある彼らの遺体を探しながら、チベット語でカワカブ(白い雪)と呼ばれるこの山に15年以上通い続けてきました。その過程で見えてきた梅里雪山の自然の限りない奥深さや、大聖山として崇められる山の魅力について、最新の現地訪問報告も交えお話しします。